

科目	日本語Ⅱ	単位数	2	学年	2	学級	F 選択者	学科	国際 教養科
----	------	-----	---	----	---	----	----------	----	-----------

学習の到達目標	日本語で授業を受けるに足りる専門的な語彙、漢字を身につける。 友人との会話、目上の人との会話を適切に使い分ける。
使用教科書 副教材等	試験に強くなる！中上級学習者のための日本語読解ワークブック (株)アルク 新完全マスター文法 日本語能力試験 N1 スリーエーネットワーク 常用漢字クリア 尚文出版

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	36 日本人の「すみません」 37 日本文化の起源 38 ウチとソトとヨソ	日本語の世界 日本の文化 日本人の行動様式
	5	39 母乳語は心の糧 40 文化の多様性	言語とコミュニケーション 異文化理解
	6	42 リサイクル社会 43 情報の文明学	環境と人間 ITと情報社会
	7 9	45 落ち着きがない子供たち 46 悪い言論にも言論の自由	子どもと教育 報道とマスコミ
後期	10	スピーチコンテスト準備① 授業内スピーチコンテスト	原稿作り 発表
	11	49 電気自動車の時代 51 手塚治虫の『火の鳥』	科学と技術 生命と倫理
	12	日本語能力試験対策	日本語能力試験N1対策問題演習(聴解・言語理解)
	1	スピーチコンテスト準備②	スピーチ発表練習
	2 3	アンケート発表	テーマ決め 資料作り 発表練習

評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	授業への出席状況。積極的に言語活動に参加しているか。
	表現の能力	やや社会的な話題について、自分の意見や事実を口頭・文章で適切に表現できるか。
	理解の能力	やや社会的な話題について、情報を聞いたり読んだりして、その内容を理解できるか。
	知識・理解	発音・文字・語彙・文法等の知識を身につけているか。また、出身国と日本との文化・慣習の共通点や相違点を理解しているか。
	評価方法	読む、聞く、書く、話す、文法知識、漢字の観点別に、定期考査、漢字テスト、文法テスト、提出物、授業中の取り組み、発表等を総合的に評価します。

担当教諭から	自宅で必ず予習・復習を行い、提出物は期限厳守で提出してください。 日本語を不自由なく読み書きできることを目標にして、積極的に勉強してください。
--------	--